卒業生が母校の武蔵野美術大学を振り返る

絵本作家になるまでに私が学んだこと。

── みやこしあきこ vol.2 ──

みやこしさんのアトリエにて、新刊に向けて制作中の作品を少しだけのぞかせてもらいました。数年前にはじめたというリトグラフの技法を用いているのだとか。色彩豊かなみやこしさんの世界も楽しみ。

profile
1982年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学卒業。2003年より「ニッサン童話と絵本のグランプリ」への応募をはじめ、優秀賞2回、佳作4回を受賞。7度目となる2009年に『たいふうがくる』で大賞を受賞しデビュー。現在は東京都在住。

絵本作家になるには、
どんなことを学び、培えばいいのでしょう。
前回に引き続き、臨場感のあるモノトーンの世界が
印象的な絵本作家・みやこしあきこさんに
大学時代に経験したこと、
感じたことを教えてもらいました。

大学でしか得られなかった財産

ボローニャ・ラガッツィ賞[*1]の特別賞をはじめとする名誉ある賞を数々受賞し、今や飛ぶ鳥を落とす勢いのみやこしあきこさん。前回に引き続き、どんな学生時代を過ごして絵本作家になったのか、詳しくお伺いしました。必死に入試課題に取り組んだ予備校時代を経て、憧れの武蔵野美術大学の視覚伝達デザイン学科に無事合格。水を得た魚のように学校生活を楽しんだのでは。

「入学当初、実はちょっとしんどかったといいますか……。〝視デ〟はなぜこれをつくりたいと思ったのかとか、どういう人に向けてとか、論理的な思考を大切にする学科だったんですよね。デザイナーや、広告関係の就職を目指す人が多かったので、直観的に制作するタイプの自分は〝広告系の仕事は向いていないな〟と実感しました。

でも、基礎課程の授業で習う活版印刷や製本、シルクスクリーンといった、いろんな技法を学べたのは本当に楽しかったです。ムサビ時代から毎年〝ニッサン〟[*2]のコンペに応募していたのですが、習った製本技術をすぐに活かしたくて自作の絵本でトライしていました」

そう話すみやこしさん、ムサビ時代の財産は授業で得たものだけではないそうです。

「絵本の授業はなかったんですが、今思えば自分と違うものをつくっている友だちに出会ったり、旅行へ行ったり、直接関係ないことを経験したりするのもよかったと思う。

在学中に伸びがよかった子は、みんな面倒見がよくって、卒業後もイラストの仕事で声をかけてくれました。いいヤツだなぁって（笑）。同級生だった装丁家の坂川朱音さんとは今一緒にお仕事ができたり、『おちゃかい』[*3]の編集者さんも、視デの友だちに紹介してもらって出版につながったり！　授業だけじゃなくて、ムサビ時代の人との出会いは大きかったですね。

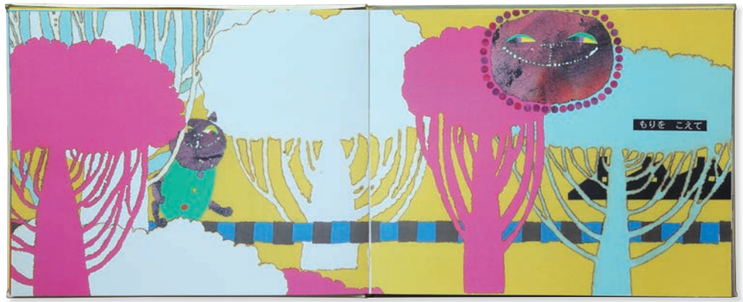
入学した当初は油絵学科などのファイン系に行くべきだったんじゃないかと思ったりもしたけれど、結果的にやりたいことができたし、視デはアウトプットの仕方がなんでもOKだったからよかった。絵本だけ学んでいたら視野がせまくなっていたかもしれないですね」

卒業後は印刷所に勤めながら絵本の制作を続け、ついに5年後絵本作家に。「あきらめたことはなかった」というみやこしさんの言葉が印象的でした。

『もりの おくの おちゃかいへ』の原型は、大学時代の作品

「第17回日本絵本賞」大賞受賞作品『もりの おくの おちゃかいへ』（偕成社　本体1200円＋税）は、カナダやフランスをはじめ、世界10カ国で出版されている（出版予定含む）みやこしさんの代表作の1つ。この絵本は在学中に制作した作品『あめのひに』（写真右）がベースとなっている。「表紙のシーンからストーリーがふくらみました」。写真中央の2冊は、ダミー本。

コンペに応募し、評価してもらうことがモチベーションに



１年に一度、「ニッサン」に応募していました

ムサビ在学中から、みやこしさんは「ニッサン童話と絵本のグランプリ」への応募を毎年行っていたそうです。写真ははじめて制作した絵本であり、はじめての応募作品。「奥付に2001年と。1年生のときですね。線香で焼いた色紙をコラージュ。いろいろと試してみたかった時期です。家庭用複合機を使ってスキャンし、プリントして手製本しました」

卒業制作はアニメーションに挑戦！期間は約９カ月

こちらは卒業制作のアニメーション。5分の動画となると、約3000枚もの絵が必要です。「枚数は気にならないくらい自分の絵が動くのが楽しくて仕方がなかったです。一人で部屋にこもって気づいたら日が暮れていることがたびたび。描きすぎて家族が怖がっていました（笑）」

武蔵野美術大学オープンキャンパス開催！

真夏のオープンキャンパス2018
「ムサビを知る!」
8月18日（土）、19日（日）
詳細な学科説明や各種模擬授業、入試ガイダンスなどで美術・デザインと美大、そしてムサビの「本当」を知る！

イラストコンペ
「ムサビノート展」開催!!
応募作品は8月のオープンキャンパス会場で公開審査。
詳細は下記サイトにて
https://musabicaravan.com/note/

武蔵野美術大学　鷹の台キャンパス
東京都小平市小川町1-736　☎042-342-6995

*1…イタリアのボローニャで毎年開催される世界最大の児童書専門見本市「ボローニャブックフェア」に出展された本の中から選ばれる栄誉ある賞　*2…「ニッサン童話と絵本のグランプリ」
*3…絵本「もりの おくの おちゃかいへ」

撮影／かくたみほ